評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| さむくても へいき  そとに 出てみよう | 【関心・意欲・態度】  四季の変化や季節の特徴に関心をもち，身近な自然とかかわる活動を通して，楽しんでいる。（態度・行動・つぶやき） | ・教科書や画像，友達の話などをもとに興味・関心をもたせ，校庭や公園に出かけ，変化や特徴を諸感覚を通して感じ取らせる。  ・教科書(p.94～95)を使って学習や活動への意欲を高める。 |  | ・学校の行き帰りや休み時間など，生活科の活動以外の機会にも季節の変化を見つけたり，気付いたことを知らせたりしようとしている。 |
| 【思考・表現】  四季の変化や季節によって起こる自然や生活の変化について，考えたり，振り返ったりしたことを素直に表現している。（つぶやき・発言・カード） | ・校庭や公園に出かけるときは，教師と一緒に活動させ，考える視点や適切な支援を与える。  ・デジタルカメラを持たせ，教室に戻ってからゆっくり振り返ったり，表現したりできるようにする。 |  | ・たくさんの対象の変化について考えたり，振り返ったりしているとともに，多様な方法で表現しようとしている。 |
| 【気付き】  四季の変化や季節の特徴に気付いている。（発言・カード） | ・友達の発表に対して同意や感想を求め，自分自身の気付きがもてるようにする。  ・デジタルカメラの画像などを使って変化や特徴に気付かせるようにする。 |  | ・秋からの変化や自分自身の生活とのかかわりのある事がらについて気付いている。  ・友達の発表や気付きから新たな気付きを生み出している。 |
| ふゆ休みに  たのしもう | 【関心・意欲・態度】  冬休みを迎えるに当たってのめあてや，やってみたいことを考え，具体的に計画し，進んで友達に知らせようとしている。（態度・行動） | ・これまでの冬にやったことを聞き取りするなかから，できそうなことや興味をもてそうなことをアドバイスし，友達との交流がもてるようにする。 |  | ・小学生になったという自覚のもとに，めあてや計画を考えている。  ・冬休みやお正月を迎えることが待ち遠しいと，休み時間の言動などからも感じられる。  ・自分の発表だけでなく，友達の発表も熱心に聞いている。 |
| 【思考・表現】  ２学期にできるようになったことや冬休みにやってみたいことを考え，みんなにわかりやすく説明しようとしている。（態度・発言・カード） | ・できるようになったことが自分でわからないときは友達の意見やアドバイスを促す。  ・やってみたいことは，文字に書いたり，簡単な絵で表したりさせながら，言葉でも補って説明させるような手順を踏む。 |  | ・進んでメモにまとめたり，違いのある(３つの)内容で教科書の記述欄に記入し，それをもとに発表している。  ・思いつきの発表ではなく，友達の発表もしっかり聞きながら，まとまりのある発表をしている。 |
| 【気付き】  ２学期の自分の成長に気付くとともに，冬休みの生活や環境の違いについて気付いている。（つぶやき・発言・カード） | ・自分自身の振り返りだけでなく，友達からの意見やアドバイスも取り入れていく。  ・教科書を使って，冬休みの生活や環境の変化を視覚的にとらえる。 |  | ・できるようになったことに気付くとともに，お世話になった人や応援してくれた人がいたことにも気付いている。  ・夏休みや他の季節と比較しながら，冬休みの生活や冬の自然の特徴に気付いている。 |
| きたかぜと あそぼう | 【関心・意欲・態度】  冬の自然の変化に関心をもち，冬の自然を利用した遊びや活動を楽しんでいる。（つぶやき・行動） | ・グループで一緒に遊ぶ活動を取り入れたり，遊び方を教師が支援するなどして，季節を利用した遊びの楽しさに気付かせるようにする。 |  | ・冬の自然を利用した遊びや活動において，学級や集団をリードしながら意欲的に活動している。  ・「なぜ」「どうして」という視点をもちながら，自然を見つめている。 |
| 【思考・表現】  身近な環境の変化を諸感覚を通して感じ取り，その特徴や楽しみ方を素直に表現している。（つぶやき・発言・カード） | ・カードに諸感覚を使って季節を感じ取る要素(手・目・鼻・耳・口…など)を取り入れる。  ・２人程度の少人数の情報交換を日頃から取り入れていく。 |  | ・登校時や休日など，授業時間以外でも，自分で見つけた季節の変化やくらしの様子を友達や教師に伝えている。 |
| 【気付き】  季節の変化や季節に応じた遊びがあること，また，その楽しみ方に気付いている。（つぶやき・発言・カード） | ・全体での話し合いや発表の機会を使って，季節の変化や季節に応じた遊びの楽しさを共有できるようにする。 |  | ・目に見えるものだけでなく，音や手触りなどからも冬の特徴をとらえ，素直な気付きにつなげている。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| むかしの あそびを  たのしもう | 【関心・意欲・態度】  伝承的な遊びに興味をもち，地域の方とのふれあいやかかわり合いを楽しんでいる。（態度・つぶやき・行動） | ・地域の方の実演やできるようになった友達の様子を参考にさせ，自分もやってみたいという気持ちを高める。  ・技術的な面から苦手意識をもってしまう場合は，教師が個別に丁寧に対応する。 |  | ・積極的に地域の方とかかわり合ったり，できるようになったことを進んで友達に教えたりしている。  ・興味をもった昔の遊びを休み時間や家に帰ってからもやっている。 |
| 【思考・表現】  自分が工夫したり，上達したりしたことを振り返り，友達や地域の方に伝えたり，話したりしている。（行動・発言・カード） | ・「楽しく遊ぶ」から「工夫して遊ぶ」段階への発展を区別させ，工夫した点や覚えたコツなどがきちんと意識化できるようにする。  ・活動の様子を把握しておき，発表時にアドバイスができるようにする。 |  | ・できるだけで満足せず，もっとよくできるようになるにはどうしたらよいかを考え，試したり，教えてもらったりしている。 |
| 【気付き】  ・昔からの遊びの楽しさ，それを通しての地域の方や友達とのかかわりの楽しさに気付いている。（つぶやき・発言・カード） | ・できたことや地域の方からほめてもらった点などを記録しておき，ほめたり励ましたりして，自信をもてるようにする。  ・活動の意図や目的，当日の様子を保護者にも伝え，家庭においても支援(自信がもてるよう)できるようにする。 |  | ・これからもより多くの人とかかわりあうことで学習や活動が充実することに気付いている。  ・地域の方に感謝することの大切さに気付いている。 |